

足立区議会議長 工 藤 てつや 様

足立区議会議員 14 番 くじらい 実 印

一 般 質 問 通 告 書

今定例会に下記要旨の一般質問を行いたいのので、会議規則第59条第2項の規定により質問通告書を提出します。

記

行 政 区 分	質 問 の 要 旨
1 政策経営行政	I.竹ノ塚駅周辺のまちづくりについて 昨年3月に竹ノ塚駅の高架化が実現し、現在着々と駅周辺のまちづくりが進んでいる。すでに区としても駅周辺は「人が主役」のまちづくりを掲げているが、今後の竹ノ塚駅周辺そして竹の塚エリアデザイン計画に含まれる地区のまちづくりについて多角的な考え方で進めてほしいと考える。そこで伺う。 ① 令和6年度に策定予定の竹の塚エリアデザイン計画だが、範囲は竹ノ塚駅前だけではなく、北は足立清掃工場付近、東は湊江中学校付近、西は伊興小学校付近、南は六月二丁目～三丁目付近までを網羅している。来年度の策定に向けて、駅前の顔づくりとその周辺地域についてそれぞれの方角性をどう考えているのか伺う。
2 危機管理行政	今年の4月から足立区客引き行為等の防止に関する条例が施行され、竹ノ塚駅周辺でも体感治安の向上に向けて動いている。そこで、今後の取り組みについて質問する。 ② 取り組みを今後に活かすためにも定期的にアンケート調査を行うべきだと考えるが、区の見解を伺う。また、アンケート以外の地域の声や区民の声などでは、どのような意見が寄せられているのか伺う。 ③ 実際に客引き防止の警備にあたっている方からの現場の声も含めて、竹
9月13日 午前・午後 8時45分受付 質問時間 20分	

14 番 くじらい 実	
行政区分	質問の要旨
3 政策経営行政	ノ塚駅周辺の悪いイメージの要因として、客引きだけでなく、違法駐輪、自転車マナー、ごみの放置、路上喫煙などが挙げられる。こうした問題は所管ごとに対応しているのは理解するが、多角的に足立区全体で一致協力して取り組むべきであり、また協力してくれる区民も巻き込んで改善につなげてほしいと考えるが、区の見解を伺う。 ④ 令和4年3月に UR・東武鉄道・足立区とでまちづくりに関する三者協定を結びまちづくりに取り組んでいるが、現在の進捗状況はどうか。また、東口の駅前広場については今後どのような形で、いつ頃計画が示されるのか、区の見解を伺う。 ⑤ 竹の塚地域学習センターは昭和53年の設立後45年が経過している。本来大規模改修すべき約30年を大幅に超え、今後も老朽化が見込まれる。三者協定の計画とともに竹の塚地域学習センターの今後については、出来るだけ早い時期に竹の塚エリアデザイン計画の中での公共施設再編を含めた方向性を出すべきだと思うが、区の見解を伺う。 ⑥ 今後、東口西口両駅前広場において、賑わいをつくる要素も必要だと考える。現在 UR が行っているまちづくりラボ・ミントポについて、7月15日にはストリートピアノが実施され演奏されたのは58名で、周辺には入れ替わり立ち替わり人が集まるなど、徐々に地域に根付いた活動が始まってきた。まちづくりに関する意見を聞く場所として開設されたミントポだが、駅前の商店との連携は現在どうなっているのか。また、今後の方向性としてどう取り組んでいくのか伺う。
4 産業経済行政	⑦ 例年12月に行われている光の祭典について、コロナ禍でも試行錯誤をしながら、様々な形で開催して頂いたことに敬意を表する。現在、コロナも5類相当になり、各地域でコロナ禍以前の行事が戻っている中で、今回の光の祭典は飲食ブースの出店は認められるのか。また、駅東口商店街との連携をどう図っていくのか伺う。

14 番 くじらい 実	
行政区分	質問の要旨
5 都市建設行政	次に竹ノ塚駅西口の駅前広場と高架下などの駅西側についていくつか伺う。 ⑧ 現在、駅西口側にお住まいの方がタクシーに乗る場合は駅東口で乗車し、高架下をくぐり、西口に行く状況がほとんどだと思われる。西口の駅前広場については、令和7年に仮の駅前広場を整備する予定と聞いている。仮の駅前広場では道路幅の関係でバスが入れず、乗用車やタクシーのみが出入りが可能ということで、駅西口側でのタクシー利用のためのタクシープールを設置すべきと考えるが区の見解を伺う。 ⑨ 以前、駅西側に設けられていた喫煙所は、高架化工事の進捗に合わせて場所を変えながら喫煙場所が確保されてきた経緯がある。現在西口から駅を利用する場合には駅前に喫煙所がなく、東口の喫煙所まで行かなければならないが、仮の駅前広場には喫煙所を設置する計画はあるのか伺う。 ⑩ 先日、我が党において障がい者団体と東武鉄道との意見交換会の場を設けた。駅周辺のバリアフリー化について話し合ったが、ぜひ障がい者の方にも使いやすい駅前になってほしいと期待する。そこで出た意見の一つに駅前にデジタルサイネージの設置の要望があった。なぜ今まで竹ノ塚駅前にデジタルサイネージは設置されていなかったのか。竹ノ塚駅前整備に合わせ、災害時の情報発信の重要なツールの一つとしてデジタルサイネージを設置する事も検討事項の一つだと考えるが、区の見解を伺う。 ⑪ その意見交換会の中で、西口高架下整備に合わせて東武鉄道側からトイレ設置の考えがあるとの意見が出た。どこにどんなトイレを設置する予定なのか。また、現在は駅東口側に地下に設置されたトイレがあるが、利用する方にとっては安全面や利便性などを考えると積極的に利用しづらいというご意見がある。高架下に新しくトイレが設置された場合、

14 番 くじらい 実	
行政区分	質問の要旨
	駅東口側のトイレについても東口駅前広場の整備の中で今後のあり方を検討するべきだと思えるがどうか、区の見解を伺う。 ⑫ 今後本格的な西口駅前広場を整備するためにも、補助第 261 号線の前沼交差点までの早期整備が欠かせない。西口駅前を歩くと、だいぶ家がなくなり、道路の予定地の形が見えてきている。東京都では補助第 261 号線は令和 11 年度に完成という予定を今年 2 月に示されたが、進捗状況はどうか伺う。 ⑬ また、今後補助第 261 号線の工事が進んでいけば、前沼の交差点近辺が複雑な交差点になるため、地域住民の理解は必要不可欠だと思う。都市計画道路として東京都が進めている事業だが、東京都と足立区が一体となって丁寧な地元地域への説明も必要だと思えるが区の見解を伺う。 ⑭ 地域の足として平成 15 年から走っていたはるかぜ 3 号が今年度をもって廃止と聞いている。日常においてバスをご利用になる方にとっては大変重要な問題である。廃止路線となる根拠は何か。また、この路線が廃止された場合、入谷・鹿浜地区同様にはるかぜ 3 号が通る伊興地域も交通不便地域となるのかどうか、区の見解を伺う。 ⑮ 今後、他地域においてもバス路線が廃止となることも考えられるが、区は今後の公共交通についてどう考えているのか、区の見解を伺う。 ⑯ 竹ノ塚駅周辺の高架下の利用について伺う。来年 6 月頃から西口の高架下には 25 店舗が入ると東武鉄道から発表があった。25 店舗が入った後、竹ノ塚駅西口の商店街とも連携をとりながら、竹ノ塚駅周辺の活性化への相乗効果を図ってもらいたいと考える。店舗の選定にあたり、駅周辺の方のご意見も聞いてほしいと要望していたが、東武鉄道の対応はどうだったのか伺う。 ⑰ 駅周辺から北側にかけての高架下利用について、だいぶ計画が進んできたと思える。危惧するのは、補助第 261 号線の予定地にある竹の

	14 番 くじらい 実
行政区分	質問の要旨
	塚東自転車駐車場 A 棟・B 棟を利用している自転車の行き場所である。A 棟は定期利用で 1949 台、B 棟は定期利用で 1071 台、一時利用 305 台と合わせて約 3300 台の収容が可能だが、実際には現状何台の利用があるのか伺う。 ⑱ 補助第 261 号線の整備が今後進んだ場合、現在東武鉄道が示している高架下の利用方法で、現在竹の塚東自転車駐車場 A 棟・B 棟を利用している自転車は高架下の駐輪スペースで収まりきるのか。仮に収まりきらない場合、体感治安の向上等のイメージアップに取り組んでいる竹ノ塚駅周辺に再度放置自転車が増えることが危惧される。区としては今後どのように対策を進めていくのか伺う。 ⑲ 補助第 261 号線に接道する場所には旧竹の塚保健センター跡地がある。現在は高架化事業用の資材置き場になっているが、事業終了後には地域の実情に合わせた有効な活用方法を考えてほしいが、区の見解を伺う。 ⑳ 高架化事業は今年度で終了予定である。工事は計画どおり進み、問題なく今年度中に終了できるのか。また、国からの予算も順調についていたこともあり、今後事業費が余った場合、まちづくりに活かせないか確認した経緯がある。事業費についての見込みはどうか、区の見解を伺う。 II.子ども達の活動支援について 約 3 年にわたるコロナ禍を経て、ようやく日常を取り戻しつつある。地域の行事もコロナ禍以前に行われていたものも順次再開され、人との交流が戻ってきたことは大変喜ばしいものだと考える。特に千本桜祭りや足立の花火など、過去に例をみないほど多くの方が区内外から参加した。区内地域をみても盆踊りやお祭りが開催されれば、模擬店に長蛇の列が並ぶなど、イベントの再開を喜んでいる区民の方が多くいるのだと感じる。 特に子ども達にとっては一年一年が貴重な時間であり、この約 3 年で残

14番 くじらい 実	
行政区分	質問の要旨
6 教育指導行政	念ながら失ってしまった時間もあったのではないかと推測する。 日常生活を取り戻しつつある現在、子ども達に多くのイベントに参加し喜んでもらう機会をつくるべきだと考え、質問する。 ① コロナ禍当初の令和2年には一時一斉休校にもなり、教育現場としても大変なご苦勞をされたことと思う。学校教育現場においてコロナ禍の約3年は運動会・入学式・卒業式・校外学習などのイベントをはじめ、子ども達の活動の場を確保することができたのか。また、他区の状況と比較してどうであったのか伺う。
7 学校運営行政	② PTA や開かれた学校づくり協議会など、学校と地域との繋がりをはっきりと継続していかなければならないと考える。地域のイベント等が再開されつつある中で、学校と地域の繋がりを今後どう推進していくのか伺う。 区ではコロナ禍で体験活動の自粛を余儀なくされてきた子ども達に向けて、夏休み期間中に地域学習センター等で実施する有料の体験講座を一部無料にして実施した。国や東京都においても、こどもまんなか社会の実現のため、遊びを通じ多様な体験ができる機会の創出を求めており、今年度の区の取り組みはその趣旨に合ったものであると考える。そこで伺う。
8 地域のちから推進行政	③ 夏休み無料体験講座の中には先着順ではあったが、すぐに定員に達するほど人気のある講座もあったと聞く。実際にどのような講座があり、どのくらいの参加者がいたのか。また、夏休み期間中のイベントとして来年度以降も継続していくべきだと考えるが、区の見解を伺う。 ④ 子ども達にとって、夏休みの様々な体験活動は、一生の思い出になると考える。この事業以外にも子ども達の体験活動を支援する取り組みを行っていくべきだと考えるが、区の見解を伺う。 ⑤ また、子ども達の体験活動では日本の伝統文化の継承として、子ども体

	14番 くじらい 実
行政区分	質問の要旨
	験教室なども積極的に進めるべきだと考える。現在、区内では日本舞踊や茶道教室など文化庁所管の伝統文化親子教室事業や、ギャラクシティにて歌舞伎や三味線などが体験できるジャパンフェスタなどが行われているが、どのくらいの参加者がいたのか。足立区が主体となっているイベントではないが、今後も日本の伝統文化を継承していくためにも、区としてこうしたイベントを支援し、継続していくべきだと考えるがどうか。 ⑥ 子ども達の地域活動としては、町会・自治会の子ども会が代表的だと考える。現在、子ども会のある町会・自治会の活動の中でもコロナ禍でイベントができず、子ども会が縮小してしまった町会・自治会もあると聞く。盆踊りやお祭りのように町会・自治会活動も再開されてきている中で、町会・自治会だけでなく子ども会を支援する方法を検討するべきだと思うがどうか、区の見解を伺う。 ⑦ さらに子ども達を支援する団体として少年団体連合協議会がある。毎年開催しているジュニアリーダーの宿泊キャンプは、数日間親元を離れ、参加することで子ども達が大きく成長する事業であり、なるべく多くの子ども達に参加してもらいたいと考える。しかし、ここ数年の物価高騰など、家計にかかる負担が増えている状況なども鑑み、さらに参加しやすい参加費を検討すべきと考えるが区の見解を伺う。